東京都微生物検査情報

MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT, TOKYO

第４２巻 第２号
２０２１年２月号
月　　報

東京都健康安全研究センター

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/

ISSN 1883-2636

～今号の話題～

新型コロナウイルス感染症の流行下における感染症発生動向調査定点把握疾患報告数の変化

１．感染症発生動向調査の位置づけ

感染症発生動向調査は、感染症の発生情報を正確に把握・分析し、その結果を迅速に提供・公開することにより的確な予防や治療を図ることを目的とし、1981 年に開始された。その後、1999 年の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行に伴い、現在は同法に基づく施策として位置づけられている。対象は全数把握疾患と定点把握疾患に大別され、このうち定点把握疾患は同法の 5 類感染症の一部とされている。定点となる医療機関は、保健所管内人口や医療機関数に基づき定められ、東京都内のインフルエンザ定点医療機関は 419 カ所、小児科定点医療機関は 264 カ所で、個々の機関については変化があるものの、機関数は 2011 年以降変化していない。

２．新型コロナウイルス感染症流行と行動変容

2020 年初からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い、多くの行動変容がもたらされた。マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保、手指消毒等が日常的な行動となった。また、社会においてはリモートワークや Web 会議・授業等が普及し、人と人とが直接接触する機会が極端に減少した。2020 年 4 月 7 日には 7 都府県に緊急事態宣言が出され（5 月 25 日解除）、期間中はこの傾向はさらに顕著となった。集団感染の場となることが多い小学校・保育園等は休校・休園が相次ぎ、小児同士の接触機会も減少した。さらに、海外渡航制限等、人の移動パターンも大きく変化した。

こうした状況下における COVID-19 以外の感染症の発生動向を観察することは、今後の感染症対策を計画する上で有益と考えられる。そこで今回、定点把握疾患のうち、インフルエンザ及び小児科疾患について東京都における過去 10 年間の推移を示し、2020 年の特徴を検証した。なお、分析に用いたデータは 2021 年 1 月 12 日現在のものに基づいた。

３．インフルエンザ及び小児科定点把握疾患の動向

図 1 に各疾患の週ごとの定点当たり報告数の推移を示し、また、図 2 に報告総数の年次推移を示した。2020 年は、いずれの疾患も過去 10 年間で最も報告数が少ない年となり、それまでの流行パターンも大きく崩れていた。国内においては、インフルエンザは冬期に流行、手足口病は 1 年おきに夏期に流行等、それぞれの疾患に特徴的な流行パターンが知られている。2011 年から 2019 年までの東京都においても概ねその傾向が見受けられた。しかし、2020 年には突発性発しんを除き、毎年流行する疾患でピークが見られない等変則的な動向となった。なお、突発性発しんは年ごとの報告数の変動が小さく、小児科定点報告が安定的に運用されていることを示す指標とされていることから [1)]、東京都における調査の精度は 2020 年においても確保されていたと考えられる。海外では、COVID-19 の流行に伴うソーシャルディスタンスの確保等によりインフルエンザや呼吸器感染症が減少したとする報告がある [2),3)]。今回調査した 2020 年の各疾患の減数にも行動変容の影響があったと考えられるが、感染経路や好発年齢、病原体の抵抗性あるいはワクチン導入の有無等はそれぞれ異なっており、その寄与の程度には幅があると考えられる。

インフルエンザや RS ウイルス感染症はここ数年増加の傾向にあったものが劇的に減少していたことから、COVID-19 に対する行動変容の影響がより大きく表れたとも考えられる。一方、前述したように、突発性発しんは COVID-19 流行下においても一定の報告が見られたことから、行動変容の影響を受けにくい感染症と考えられる。2020 年が非流行年であった手足口病や、ここ数年は減少傾向が続いていた感染性胃腸炎や水痘等は、2020 年の減少はこれまでの流行パターンの延長とも受けとられ、行動変容がどの程度影響したかは、現段階では見極めが難しいといえる。2021 年以降も引き続き動向を解析していく必要がある。

COVID-19 流行に伴う行動変容や公衆衛生対策が、COVID-19 以外の感染症の流行にどの程度寄与したかを明らかにすることは簡単ではない。しかし、かつてない感染症の脅威に対し社会や個人がとった行動の影響は小さくないと考えられる。今後も感染症の発生動向を注意深く見守る必要がある。

＜参考文献＞
1） 国立感染症研究所：突発性発疹，IASR, 41, 211-212，2020.
2） Wiese AD, *et al*., Clin Infect Dis. 2020 Jun 20: ciaa834. doi: 10.1093/cid/ciaa834.
3） Chiu NC, *et al*., J Med Internet Res. 2020 Aug 20; 22(8):e21257. doi: 10.2196/21257.

（微生物部（企画調整部）　宗村　佳子）

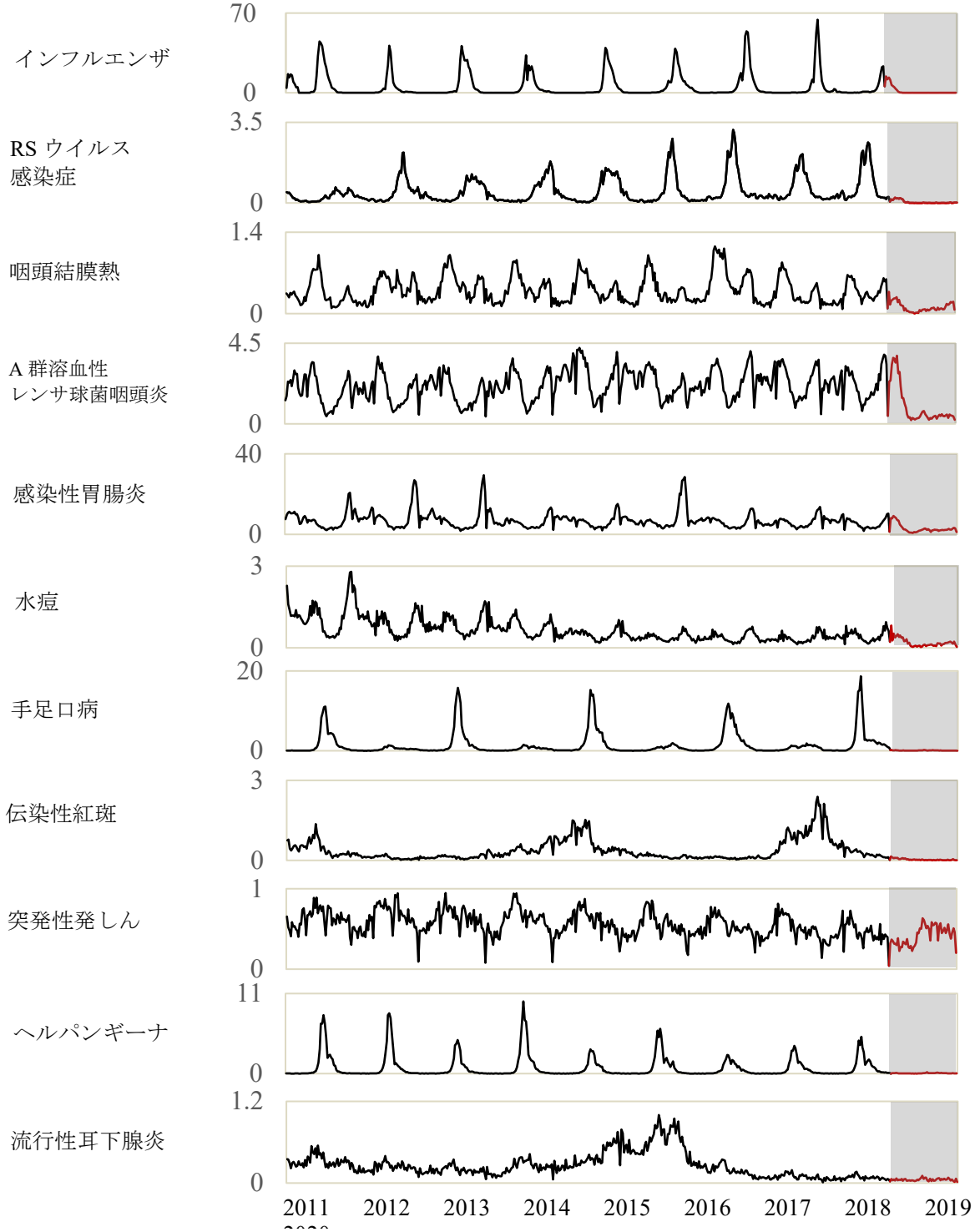

図 1. 感染症発生動向調査定点把握疾患の推移
（東京都，2011 年～2020 年，インフルエンザ定点及び小児科定点，
縦軸はそれぞれの疾患の週ごとの定点当たり報告数（人）、横軸は年を表す。）

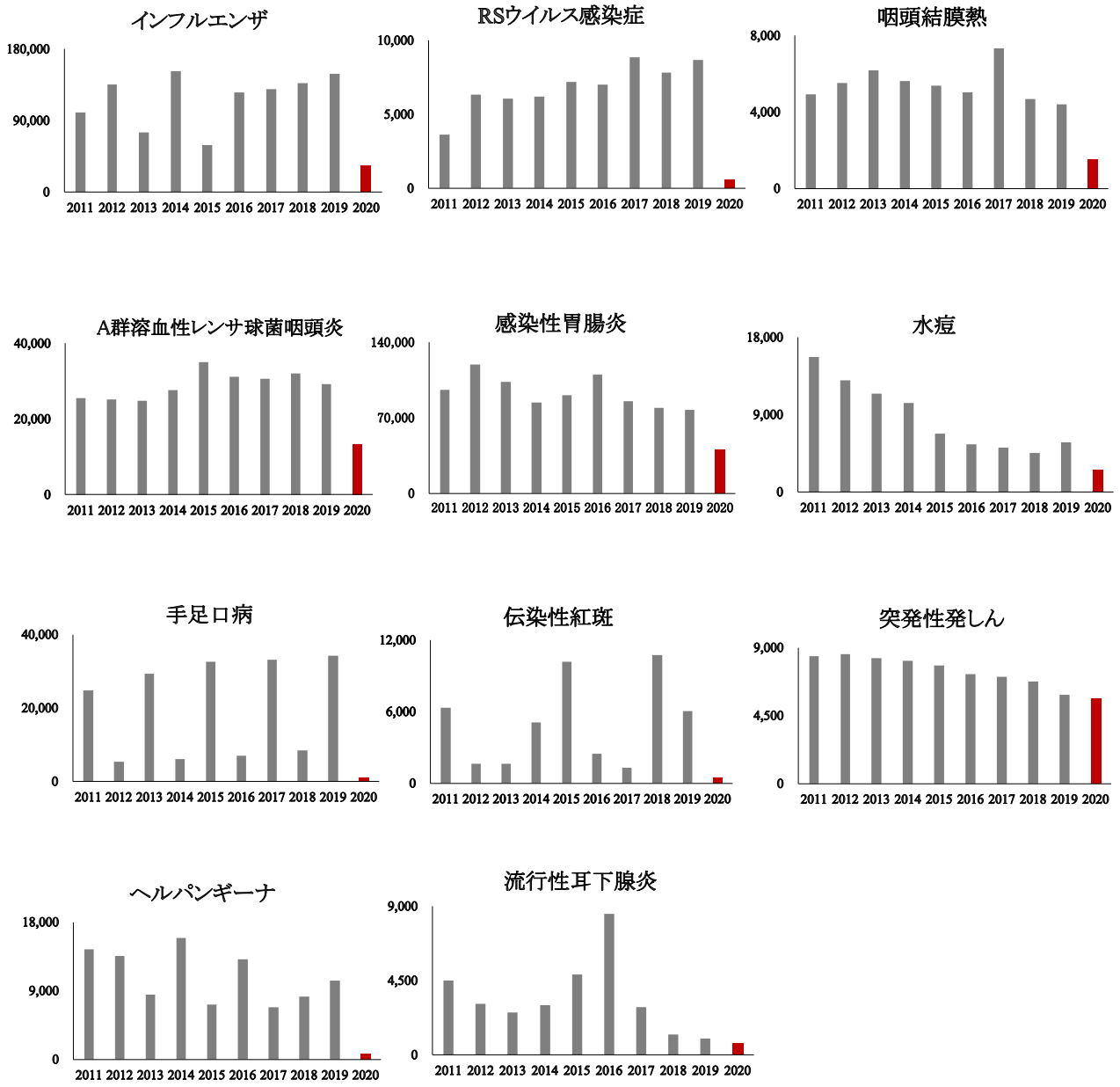

図 2. 感染症発生動向調査定点把握疾患の患者報告総数の年次推移
（東京都, 2011 年～2020 年, インフルエンザ定点及び小児科定点.
縦軸はそれぞれの疾患の年間報告総数、横軸は年を表す。）

表1　病原体搬入・検出状況（4種等）※

2021 年 2 月分

機関名		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	腸管出血性大腸菌	結核菌
区	千代田区						
	中央区						
	港区						
	新宿区						
	文京区						1
	台東区						
	墨田区						
	江東区						
	品川区						
	目黒区						
	大田区						3
	世田谷区						1
	渋谷区						
	中野区						1
	杉並区						
	豊島区						
	北区					2	1
	荒川区						
	板橋区						
	練馬区						
	足立区						
	葛飾区						
	江戸川区						
市	町田市						
	八王子市						
小　計						2	7
都	西多摩					1	
	多摩立川						
	南多摩						
	多摩府中						
	多摩小平						
	島しょ						
小　計						1	
合　計						3	7

健康安全研究センター検出分					2	

※2016 年 4 月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした。

表2　検体搬入状況（全数把握対象疾患-五類）※

2021 年 2 月分

	検体数	2020年累計
侵襲性インフルエンザ菌感染症（菌）	1	1
侵襲性髄膜炎菌感染症（菌）		
侵襲性肺炎球菌感染症（菌）	2	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(菌)	3	7
播種性クリプトコックス症（菌）		1
合　計	6	11

表3　病原微生物検出状況（食中毒関連）

2021 年 2 月分

	菌　種　名	検体数	2021年累計
細菌	大 腸 菌		
	毒素原性		
	組織侵入性		
	腸管出血性		
	その他・不明		
	サルモネラ		
	O4	1	1
	O7		
	O8		
	O9		
	その他		
	腸 炎 ビ ブ リ オ		
	プレジオモナス・シゲロイデス		
	カ ン ピ ロ バ ク タ ー	7	7
	黄 色 ブ ド ウ 球 菌		
	A 型 ウ エ ル シ ュ 菌	58	58
	ボ ツ リ ヌ ス 菌		
ウイルス	ノロウイルス（ＧⅠ）	2	6
	ノロウイルス（ＧⅡ）	36	37
	ノロウイルス（ＧⅠ,ＧⅡ）	0	1
	ロタウイルス		
	サポウイルス		
寄生虫	アニサキス	2	5
	クドア		
合　計		106	115

表4　　HIV 検査数及び陽性数

2021 年 2 月分

	男性		女性		性別不明		合計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
東京都南新宿検査･相談室	603	7	196	0	0	0	799	7
保健所等	19	3	14	0	0	0	33	3
合　計	622	10	210	0	0	0	832	10
2020年累計	1,292	19	405	0	0	0	1,697	19

表５ 性感染症検査数及び陽性数

2021 年 2 月分

	梅毒検査		クラミジア遺伝子検査		淋菌遺伝子検査	
	検査数	陽性	検査数	陽性	検査数	陽性
東京都南新宿検査･相談室	792	70	0	0	0	0
保健所等	59	2	47	3	29	0
合　計	851	72	47	3	29	0
2020年累計	1,663	145	134	10	97	0

定点把握疾患別病原体分離状況 （ウイルス）

過去３か月

定点種別	対象疾患名	検出病原体	12月	1月	2月	合計
小児科	咽頭結膜熱	アデノウイルス	1	1		2
	RSウイルス感染症	RSウイルス			1	1
	ヘルパンギーナ	エンテロウイルス	1			1

◆東京都微生物検査情報◆
２０２１年　７月　５日
編集・発行
東京都健康安全研究センター
〒169-0073
東京都新宿区百人町 3-24-1
TEL:03-3363-3213
FAX:03-5332-7365
S0000786@section.metro.tokyo.jp
http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/